



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：三瓶 和秀 幹事：鈴木 弘康 発行：会報・広報委員会

第 3038 例会 (21号) 2016 年 12 月 15 日 (木) 晴

新入会員卓話 SPEECH

宝くじのはなし



みずほ銀行いわき支店長

原田 徹 会員

宝くじは英語で「LOTTERY (ロッターリー)」と言います。ロータリーに似た言葉ですが、富くじを意味します。宝くじというのは富くじの日本での愛称です。起源は、世界的には約570年前にオランダで要塞構築資金の調達を目的に発行されました。日本では約380年前、大阪・摂津の国の箕面山瀧安寺で正月の参詣者が自分の名前を木札に書いて箱に入れ、7日過ぎに僧侶がその札を突いて当たった300人にお守りを贈ったことが始まりとされています。お守りが後に金銭になり富くじとして世間に氾濫。徳川幕府は金銭のやりとりは好ましくないと禁止しました。

ただ、寺社の修復費用の調達のためだけ、幕府は富くじを認めていました。これを「御免富」と呼び、有名なのは谷中の感応寺、目黒の瀧泉寺、湯島天神で「江戸の三富」とされていました。御免富も1842年に水野忠邦が行った天保の改革によって禁止になりました。以来、100年余り日本では富くじはありませんでした。

昭和に入って、日本は戦争を遂行するのに莫大な資金を調達するため、戦時債券を発行しました。しかし、いずれ償還しなければならず、政府が資金不足を補うため富くじを発行しました。当時、戦時債券を扱っていたのが当行の前身の日本勧業銀行でしたので、委託を受けて1945年7月に発売しました。1枚10円で1等は10万円。戦時中でしたので富くじを「勝札」と名付けて販売しました。実際はその1カ月後に終戦を迎えることになり、負札となったようです。

戦後の混乱の中、激しいインフレが起き、市中

に出回るお金を減らしてインフレを抑制するため、1945年10月に「政府第1回宝籤」が発売されます。この時、初めて富くじの愛称を「宝くじ」として今日に至っています。その後、政府だけでなく各自治体が資金調達のため宝くじを発行するようになります。1946年12月に福井市が発行した「フクフクくじ」が最初の自治体発行の宝くじです。

日本勧業銀行の戦時債券部は戦後、貯蓄部と名を変え、さらに1946年8月に宝くじ部という名になりました。この創世記に片岡一久さんという宝くじに命をかけたような先輩がいました。宝くじの愛称を考えただけでなく、クルクル回る抽せん器のアイデアや「幸運の女神」というキャンペーンガールを生み出したのも片岡さんです。

宝くじは全体の売り上げで2005年に1兆1047億円の過去最高額を記録しました。私は、いわき支店長の前の前が宝くじ部で、最高の売り上げの頃に在籍しました。ちなみに2015年度は9154億円です。18歳以上で宝くじを買ったことがある人は推計で約6000万人とされています。1億円以上の当せん者は1日に約1人の割合で誕生しています。

宝くじ1枚の中身はどうなっているかというところ、47%が当せん金に充てられます。そして39.8%は自治体などの発売元へ収益金として納付。1.2%は社会貢献広報費で公園のベンチなどに「宝くじで整備しました」などと書かれている物に使われます。よく「宝くじのもうけは銀行に入ってる」と言われることがありますが、私どもは印刷費や宣伝費など12%の経費の中から販売手数料として頂いているだけです。誤解のないようお願いいたします。

宝くじには時効があります。支払開始日から1年が期限ですが、受け取らなかった時効当せん金は2015年度で165億円になっています。信じられないですが、1億円以上の高額当せん金が17本もありました。時効当せん金は全額発売元へ渡り公共事業に役立てられています。

高額当せん者の人物像を紹介します。これは1000万円以上の当せん者の中から協力をいただいてアンケートを取った宝くじ長者白書に基づいています。



2016~2017年度
国際ロータリーのテーマ

「人類に奉仕するロータリー」

Rotary Serving Humanity

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

人物モデル像は、男性の場合、購入歴10年以上で60歳以上、30枚購入、水瓶座の会社員、イニシャルはT・Kさんです。女性の場合購入歴10年以上で60歳以上、10枚購入、牡牛座の主婦、イニシャルはK・Kさんが統計上の結果でした。当せんの秘訣を聞いたところ第1位は運、第2位は継続、第3位はひらめき、第4位は日ごろの行いと回答されました。でも、一番肝心なのは「宝くじを買う」ことです。

最後に、宝くじはギャンブルと取られることもあるようですが、国民の健全な娯楽であり「夢」です。また、地方財政へも貢献して社会的な意義があると思います。宝くじのマークに「あなたに夢を。街に元気を。」と書かれています。このフレーズは私が宝くじ部にいた時、居酒屋で考え付いた言葉です。今や師走の風物詩となった年末ジャンボが発売中です。23日が最終日ですので、ぜひ皆さんもお買い求めください。

司会：鈴木弘康幹事

〔点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・
四つのテスト（越智正典会員）〕

越智正典会員



★ 結婚祝



西原 浩実さん
(12月16日)

★ 誕生祝



西原 浩実さん
(12月8日)

ハッピーバースデーソング斉唱

◆会長挨拶ならびに報告



本日12月15日は「観光バスの日」です。1925年の12月15日に東京遊覧自動車会社が皇居前－銀座－上野のコースで定期観光バスを運行し始めました。その日に、ちなんでいます。しばらくして、はとバスが運行されるようになりました。

最近、貸切バスの料金が上がったという事実があります。2012年に関越自動車道で長距離バスの運転手が居眠り運転で事故を起こし、7人が死亡しました。ここから規制や法令が改められ、あるキロ数以上は運転手が2人態勢で、必ず休みを入れなくてはならないようにしました。さらに国の方でバス料金に下限と上限を決めてしまいました。どこも同じような金額になり、我々の業界では見積を取っても、

あまり意味がなくなってきました。

それでも今年1月15日に軽井沢でスキーバス事故が起きてしまいました。規制や法令を厳しくしても事故は減らないようです。つい2、3日前にも新宿で抜き打ちのバス検査があったようです。事故は注意していても起きてしまいます。料金だけは上がる一方で、その分、皆さんの負担が増え、バス会社もつぶれていく状況に、どうにかならないかと考え込みます。観光バスの日に当たり私見を述べさせていただきます。

◆幹事報告

○ハイライトよねやま201が届きました。

委員会報告

◆出席委員会（池田直彦副委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
12月15日	52名	33名	—

◆親睦活動委員会（有賀行秀委員長）

12月22日の年忘れ家族会は、本日まで31家族、55人が参加登録をしています。いわき市在住でギネスに登録された方をお招きして、パフォーマンスを披露してもらいます。皆さんで楽しく過ごせるよう努めます。

◆スマイルボックス委員会（曲山浩範副委員長）

♥三瓶和秀さん（原田さん卓話よろしくお願ひします）♥曲山浩範さん（原田さん卓話宜しくお願ひします）♥高橋康二さん（原田さん卓話よろしくお願ひします）♥青木喜久男さん（原田さん卓話よろしくお願ひします）♥大久保健蔵さん（原田さん卓話よろしくお願ひします）♥伊藤盛敏さん（原田さん卓話ご苦勞様です）♥勝田博志さん（原田さん、卓話楽しみにしています）♥鈴木弘康さん（原田さん卓話よろしくおねがひします）♥八幡恭朗さん（原田さん卓話よろしくお願ひします）♥吉田仁平さん（原田支店長の卓話楽しみ）♥山崎洋次さん（原田さん卓話よろしくお願ひいたします）♥関口武司さん（原田さん、卓話宜しくお願ひします）♥浅倉哲也さん（原田会員の卓話を楽しみにしています）♥平戸康明さん（原田さん卓話よろしくお願ひします）

以上14件

★本日の例会案内 12月22日（木）18：30～
年忘れ家族会

★次回の例会案内 1月5日（木）18：30～
新年例会（会場：松本楼）